

令和4年度

教育行政執行方針



基本姿勢

コロナ禍での教育事業はICTや先端技術を活用した未来社会に教育を開くと同時に、リアルな教育資源に溢れる地域社会に教育を開き、真正な体験や学びを取り込むことで、AI時代を生き抜く豊かな感性や創造性、人間性が育まれます。町民皆様の一層のご理解とご支援をいただき、充実した事業の提供に邁進します。

減少する児童生徒数と老朽化による小中学校統合校舎の建替えに併せて、小中一貫教育制度の導入に向けた検討が



教育長
石井 美雪

始まります。今後の新しい学校づくりの基盤を地域住民のご意見をいただきながら、より良い教育環境を築き上げていきます。さらに町民会館の老朽化による建替えについても同時に協議を行い、安全で安心な施設整備に向けて取組んでいきます。

子育て支援に寄与するため、本年度より児童生徒の学校給食費の無償化を実施します。保護者の経済的負担を軽減し、妹背牛町の宝である子どもたちが栄養バランスのとれた給食を平等に食し、健康でいきいきと学べるように食育及び教育環境の充実を提供します。

妹背牛町教育目標

1. 命を大切に、明るく活力に満ちた生活を営む人
1. 勤労を尊び、郷土の発展に貢献する人
1. 自然と共生し、住みよいまちを創造する人
1. 豊かな心で、郷土の文化をはぐくむ人
1. 夢と希望を持ち、主体的に学び続ける人

学校教育の推進



近年多発するインターネットによる悲惨な事件に子どもたちが巻き込まれないように情報モラル教育の徹底を図っていきます。また、急激な社会変化が進む中、子どもたちが無限の可能性を発揮できるようにICTを活用した情報技術を手段として、学習などに活用できるように取組んでいきます。

本年度より妹背牛小学校ではひとりある教育活動を展開するための一つの施策として、二学期制の導入に向けた準備を進めていきます。授業時数の確保やこれまで以上にきめ細かな指導と評価が期待されます。また、中学校では子どもたちが卒業するまでに、生涯にわたって生き抜く力を育成するため、基礎的な知識技能の習得と生徒の実態に基づく授業改善に取組み、自主的・自立的な学習者の育成に取組んでいきます。

確かな学力の育成

新型コロナウイルス感染症への対応が続く中で、学習や友達付き合い、進路など児童生徒個人の悩みや問題を抱え込んでいる場合が見受けられます。児童生徒が直面している問題の解決を援助し、成長を見守るために学習支援員、ALTなどの人材を確保し指導体制の充実を提供します。全国学力・学習状況調査での結果を踏まえ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教育推進協議会を中心に教員による研修会や授業公開など積極的に開催し、授業改善を図っていきます。子どもたちが「わからない」「どうして」など素直に言い合い、丁寧な指導ができる温かい授業を目指します。さらに困り感がある子どもたちには支援職員がサポートします。また、家庭においては規則正しい生活習慣を身につけ、保護者と連携しながら家庭学習の定着に向けて努力していきます。

豊かな心の育成

教育活動を通して人と協働することで思いやりや感謝の心を磨き、コミュニケーション力の向上を目指します。また、道徳教育では物事を多面的・多角的に考え、善悪の判断から始まり公正、公平、親切、礼儀、生命の尊さなどを学習して人格の形成と豊かな心の育成に取組んでいきます。

いじめ根絶に向けた取組みは、児童生徒間交流で共有して開催します。生涯にわたり友好な人間関係を築くことは自己の財産につながり、「悪口を言わない、人の好き嫌いをしない、他者を認める」それを貫くことが友情や信頼につながります。学校・地域・家庭では、兆しや変化を見逃さず情報共有しながら対応していきます。サポートにはスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの招聘と巡回相談による教育相談体制の充実を継続して実施します。

健やかな体の育成

新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休校から全国では、不登校児童生徒が増加しました。昼夜逆転、成績不振や心の病など原因不明も含めて苦しんでいる子どもたちが大勢存在しています。将来、自立して社会を生き抜くためには、規則正しい生活習慣を身につけ、一日分のカロリー摂取と適度な運動で心身共に健康を保つことが基本です。

また、近年では児童生徒の運動能力の低下が懸念されております。本町では「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を踏まえ、学校全体で、年間を通して体力向上の促進に努めていきます。

信頼される学校づくり

地域に開かれた学校を実現するために、学校には、保護者や地域住民の意見・要望を的確に反映させ、家庭や地域社会と連携協力し、保護者や地域住民が学校と共に地域の教育に責任を負うとの認識の下、学校運営に積極的に協力していくことが求められています。それらも含めてより良い学校経営を目指し、できる限り地域住民が参画しやすい環境を整え、コミュニティ・スクールを活用していきます。

また、学校評価を通じて学校が組織的・継続的にその運営の改善を図り、保護者や地域住民に説明責任を果たし、信頼される学校づくりを進めていきます。

特別支援教育

本町の特別支援教育では、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導ができるように、特別支援協議会において情報共有を行っています。関係機関が連携し個々の能力を最大限に引き出せるよう協議検討の場を設け、子どもたちの将来につながるような支援対策の構築を目指しています。何かができたら褒めてあげることで、子どもたちは喜びを覚え、自己肯定感を高め自信を持ちます。近くにいる大人が声掛けすることが非常に大切です。本年度は、学習支援員の増員によるきめ細かいサポートと支援職員の継続配置により、豊かで充実した学校生活が送れるように支援していきます。

社会教育の推進



町民一人ひとりが生涯にわたりスポーツ、文化、芸術などを通じて生きがいを持ち、心身ともに健康でいられるように社会教育の推進を図っていきます。少子高齢化や核家族化又は母子・父子家庭の増加により、子どもたちを取り巻く環境が変化の中で、コミュニケーション力が低下しています。それらを補うためにも体験活動の実施や国際化社会にも対応できるように、創意工夫を凝らし進めていきます。

社会教育事業

家庭教育では、読書活動に重点を置き赤ちゃんふれあいブックやブックスタートなど、幼少期から絵本に触れ合うことで感受性を育てていきます。小中学生対象として、ぼくたちわたしたち体験隊での自炊や体験活動を通して協力し合い、協調性・忍耐力など身につけ自立性を養っていきます。

また、リーダー研修会では、近隣の1市5町との交流を深め幅広い視野を広げます。全町民対象として国際交流事業の英語で遊ぼうなど世代間交流を通し、多角的、多面的な価値観の形成を目指します。

芸術文化事業

芸術鑑賞会では、豊かな心を養い癒しの時間を提供していきます。文化講演会には落語家を招聘し、伝統ある日本の文化に触れ合い、笑いを提供します。更に映画上映会では、幅広い年齢層に好まれるような上映会を開催します。例年実施しております郷土館季節開館では、先人が残した郷土の歴史や文化に触れる機会の提供を行っていきます。

社会体育事業

小学生を対象にのびのびスイミングスクールの継続を実施し、水を恐れず体力向上を目指します。足腰鍛え隊と町民登山は、景観を重んじると共に健康増進の一助とします。Let'sスポーツでは身近なスポーツに慣れ親しみ、いきいきラジオ体操では規則正しい生活習慣の確立と気軽にできる体操を提供し、体力づくりの日常化につなげ、健康な毎日を過ごせるように推進していきます。

